

危機管理室

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H27年度 予算額 (千円)	H28年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H26年度 事業評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H26年度 局施策評価	H28年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
					指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
II-1-(4)-① 危機管理 対応能力 の向上	1	防災訓練の実施	危機管理課	風水害、地震等の大規模災害時における防災体制について万全を期すため、災害に対する各種訓練を実施する。	防災訓練参加人数	2,738人 (H26年度)	目標 2,240人 実績 3,471人 達成率 155.0%	2,300人 2,738人 119.0%	3,000人	3,000人	—	継続	10,728	11,153	維持	11,050	課長 0.20人 係長 0.50人 職員 0.50人	大変 順調	各種法令等の改正や全国の豪雨災害の教訓等を踏まえ、訓練内容の充実を図る。	順調	過去の災害状況や現在の地域特性に配慮した訓練想定・内容とする。	
II-1-(4)-② 災害に関する情報提供と自助、共助の意識づくり	2	防災行政無線	危機管理課	災害時における避難勧告などの防災情報は、テレビやラジオ、ホームページ、登録制防災メール・緊急速報メール、Twitter、市民防災会の連絡網などにより市民の皆さんへ伝達している。今回、津波情報等を効果的に伝達するために、地域住民に一齐に通報が可能で、災害に強い情報伝達手段である同報系防災行政無線（住民に災害情報などの放送を行う防災スピーカー）の整備を行ったもの。（平成27年度以降は維持管理のみ）	住民に津波情報や避難勧告等の防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態	—	整備完了	整備完了	防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態	防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態	—	継続	7,744	5,941	減額	5,400	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.30人	大変 順調	引き続き、防災行政無線の適正な運用管理を行う。	順調	引き続き防災情報の伝達・発信体制の整備や施設の適正な管理を行い、効果的な防災情報の伝達手段・手法について検討を行う。	
	3	みんな de Bousai まちづくり推進事業	危機管理課	過去の大規模災害では、自助・共助の力を向上させることが「減災」対策を推進する上でも必要不可欠であることが証明された。また、「北九州市地域防災計画見直し検討会」の中でも、地域コミュニティが持つ防災力＝「地域防災力」の重要性が指摘された。これらのことから、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進する。	地域ぐるみの防災ネットワークを構築した校区数	4校区 (H26年度)	目標 4校区 実績 4校区 達成率 100.0%	4校区	7校区	3校区	—	継続	12,000	12,000	維持	8,050	課長 0.20人 係長 0.20人 職員 0.50人	大変 順調	引き続きみんなde Bousaiまちづくり推進事業をすすめ、地域ぐるみの防災ネットワークの構築を目指す。	順調	また、「みんな de Bousai まちづくり推進事業」の取組みを継続して実施するなど、引き続き自助、共助の意識づくりを進める。	
				地域防災の新たな担い手を育成した人数	67人 (H26年度)	目標 30人 実績 67人 達成率 223.3%	30人	60人	60人	—	継続											